

死者・行方不明者4899人 15日午前0時現在（産経新聞）

東北など12都道県警が検視などで確認した死者数は1897人に上った。家族や知人から届け出のあった行方不明者は3002人で、重軽傷者は16都道県で計1885人になっている。

各県の死者数は、北海道1人▽青森3人▽岩手627人▽宮城785人▽福島431人▽山形1人▽東京7人▽茨城19人▽栃木4人▽群馬1人▽千葉15人▽神奈川県3人。

一方、建物の被害は、沿岸部を中心に壊滅的な状況に陥っている宮城、岩手、青森での集計が不可能に近く、報告がほとんどないものの、福島で2413戸、山形で37戸の全壊を確認。関東では茨城140戸、千葉346戸、栃木32戸が全壊した。道路損壊は茨城で59カ所、千葉で278カ所、埼玉で130カ所、栃木で150カ所など。

また、警察が把握している14日午後6時現在の避難状況は6県で計約46万8600人に上っている。各県の内訳は、岩手約3万8700人▽茨城約4万7800人▽青森約2100人▽福島約13万1700人▽栃木約9500人▽宮城約23万8800人。

福島第1原発で爆発 30キロ以内も屋内待避へ



経済産業省原子力安全・保安院は15日、東日本大震災で被災した福島第1原子力発電所2号機で午前6時14分ごろ、水蒸気を水に変える原子炉格納容器につながる圧力抑制プール付近で爆発音があり、破損した恐れがあると発表した。同午前8時31分には同原発正門付近で、一般人の年間被ばく線限度の約8倍に当たる8217マイクロシーベルトを記録、東京電力は炉心への注水作業に必要な作業員以外を一時的に避難させた。

同原発1、3号機の水素爆発による原子炉建屋の上部外壁の破壊と異なり、格納容器自体が損傷した可能性があり、国内の原発事故としては最悪のケースとなった。

東電は15日午前7時、地域別に順番に電力供給を停止する計画停電を再開した。

被災者支援・災害復興カンパの要請

郵便振替 00190-7-371125 全国地域人権運動総連合

みずほ銀行稲荷町支店普通預金 1711925 全国地域人権運動総連合